



修学旅行 第2学年
6月6日(水)～6月8日(金)



第 106 号

編 集 発 行

愛知県立大府東高等学校 P T A

平成30年 7月13日 発行

会員の皆様におかれましては、益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。平素は本校 P T A 活動にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。平成三十年度 P T A 会長を務めさせて頂くことになりました。伝統ある本校 P T A の重責を感じておりますが、役員の方々と力を合わせて活動に取り組んでまいりますので、更なるご支援を賜りますようお願い申し上げます。

少子高齢化の波の中、就学・就労に関する問題や雇用形態の多様化などにより、若者の離職率の増加等、子供たちを取り巻く社会環境が大きく変化し、価値観も多様化しています。この様な大変厳しい状況の中で、未来を担う子供たちが、豊かな社会性と優れた想像力を養い、自ら責任を持って行動出来る人間として成長していく事は、全ての人の共通の願いです。そのためには、子供たちの生活の場である家庭・学校・地域社会が、それぞれの役割と責任を自覚し、子供たちが意欲を持って生き生きと充実した生活を送るように支援する必要があります。



P T A 会長

笹田 栄治

ごあいさつ

私の想いとしては、先生方の『教え』と私たち親の『育み』により、子供たちの成長を助けていきたい、そのために P T A の場を、先生方と保護者、また保護者同士の交流の場として、情報交換や意見交換を行っていただければと思います。

高校時代は、先生方から勉強だけでなく人生の先輩として多くを学び、友人と語り合い、部活動に熱中し、将来に夢と希望を抱き、自分自身を見つめて進むべき道を模索する大切な時期です。また、この時期は自己確立・自主自律を学び、成長期の大切な『よき子離れ』『よき親離れ』の時期であります。それ故に、この高校三年間は社会人として巣立つ前の子供に伝えて行ける最後の時間であると思います。我が子に親として、人生の先輩として、ひとりの人間として、生き方や価値観などを伝える大切な時期です。

今年度も、P T A 役員をはじめとする保護者の皆様方のご理解とご協力を得ながら、子供たちのためのより良い教育環境づくりに努めて行きます。

P T A 行事には、多くの会員の皆様にご参加頂き、情報交換や意見交換が出来ることを願っております。大府東 P T A ならではの学びの場づくりの P T A 活動を目指して行きたいと思っております。会員の皆様の一層のご支援とご協力をお願いし、会員の皆様の積極的なご参加と、様々な機会に率直なご意見や考えをお聞かせ頂くことをお願いしまして、ご挨拶とさせていただきます。

いあいさつとお礼



校長
土井善和

二四〇名の新入生を迎え、ちょうど七〇〇名の生徒でスタートした平成三十年度も、早、二ヶ月が経とうとしています。この会報が発行される頃には、三ヶ月以上が経っているわけですが、お子さんの様子はいかがでしょうか。改めてこの場をお借りして、日頃からの保護者の皆様の、本校の教育活動に対するご理解とご協力に感謝申し上げます。この間の学校での出来事について、二点紹介させていただきます。

一つは、今年で三十三年目を迎えた、オーストラリアのエルウッドカレッジとの姉妹校交流についてです。五月二十四日から三十日までの一週間行われ、ロンダ・ホルト校長先生を始め、十九名の生徒と三名の先生が来校しました。今回は全クラスに一名は必ず入ってもらって、一緒に学校生活を送ってもらったのですが、より多くの生徒諸君がこの交流を体験することができたのではないかと思います。ホストファミリーとしてご協力いただいた保護者の皆様には、本当にありがとうございました。

もう一つは、部活動についてです。どの部も熱心に活動しており、大会の結果の善し悪しに関わらず、お子さんたちは非常に多くのことを学んでいます。辛い時期もあるかとは思いますが、乗り越えることによってより逞しく成長してくれることを願っています。その中で、この春の総合体育大会の県大会におきまして、弓道部の男子が団体の部で、また陸上競技部の二年生、西真奈伽さんが女子一〇〇mにおいて、ともに見事第三位となり、東海大会への出場を果たしました。伸び盛りの若い力が見事に発揮された、素晴らしい結果だと思います。今後のさらなる活躍も期待しましょう。

三年生は部活動にも区切りが付き、進路目標の実現に向けて学習のペースを上げていきます。授業の他に補習や土曜学習会、ALPS学習などに真剣に取り組む姿が随所に見られ、表情も引き締まってきました。結果はすぐには出ませんが、努力し続ける以外の方法ありません。自分を信じ、先生を信じて、コツコツと努力を重ねてほしいと思います。

落ち着いた学校生活を送る中、生徒たちは、学習や部活動、そして学校行事にと、本当によく取組んでいます。修学旅行や遠足など、いろいろな行事の様子等はずべてホームページにおいて紹介しておりますので、ぜひご覧いただければと思います。今後とも一層のご支援、ご協力をお願い申し上げます。

PTA総会

去る五月十四日(月)、本校体育館においてPTA総会を開催いたしました。当日の出席者は一六八名(委任状五三二)でした。

総会は、近藤会長の挨拶に始まり、平成二十九年度事業報告、会計決算、監査報告が行われました。

続いて、平成三十年役員改選が行われ承認され、笹田新会長の挨拶がありました。そして、新役員の方から平成三十年度事業計画、会計予算案が提示され、承認されました。

最後に、PTA活動にご尽力いただきました、近藤会長をはじめとする十一名の役員の方々に感謝状を贈呈し、終了しました。

総会終了後は、学年ごとに会場を設定し、学年懇談会を行いました。第一学年は「高校生活の適応について」学年主任および各分掌の担当から話をしました。第二学年は「二年生の生活・学習と修学旅行について」学年主任および各分掌の及び修学旅行担当から話をしました。第三学年は「進路について」学年主任および各分掌の担当、進路指導主事から話をしました。懇談会へも多くの保護者の方の参加をいただきました。

平成三十年度

PTA事業計画

- 1 PTA総会 五月十四日(月)
- 2 PTA役員会・支部委員会・委員会等
 - ① PTA役員会
 - 第一回 六月十二日(火)
 - 第二回 九月二十八日(金)
 - 第三回 一月二十五日(金)
 - 第四回 三月二十七日(水)
 - ② PTA役員・支部委員合同会議
 - 第一回 六月十二日(火)
 - 第二回 三月二十七日(水)
 - ③ PTA委員会
 - 第一回 六月十二日(火)
- 実践活動
 - 進路指導委員会
 - 校外研修会 六月二十六日(火)
 - 第二回委員会 三月二十七日(水)
 - 生徒指導委員会
 - 職員合同校外指導(一回)
 - 職員合同交通指導(三回)
 - 環境整備委員会
 - マリーゴールドなどの植栽(年二回)
 - 総務委員会
 - 九月十一日(火)
 - 国際交流委員会
 - 物品販売実施(文化祭)
 - 文化委員会
 - 文化祭での催し物
- 3 研修会・大会等
 - ① 知多地区高P連協議会
 - 五月八日(火) 半田市

平成30年度 転入・転出者紹介

【転入】

校長	土井 善和	常滑高等学校
教諭	平井 恵大 (数学)	東海南高等学校
	水谷 友哉 (地歴)	新任
	安田 凌 (国語)	新任
	宮治 孝介 (英語)	新任
再任用教諭	竹内 康視 (地歴)	常滑高等学校
	柴田 正憲 (国語)	大府高等学校
	河野 清一 (英語)	半田商業高等学校
	高岡 宣之 (数学)	継続
	中山 史信 (数学)	大府東高等学校
期限付教諭	藤原 陽子 (国語)	継続
	鈴木裕一郎 (理科)	継続
	稲垣あすか (家庭)	継続
臨時的教諭	杉浦 未妃 (保体)	継続
期限付実習助手	岩本 佳奈	継続
主査	小崎 智子	鳴海高等学校
用務業務員	戸田 真治	継続
	三城 賀子	継続

【非常勤講師】

継続	森 英輔 (数学)	山本ひろみ (数学)
	成田 信行 (英語)	福岡 紀杏 (英語)
	岩越 正文 (理科)	林 由加利 (音楽)
	中條 直人 (美術)	
新規	酒井 杏実 (地歴)	土橋 伸一 (保体)
	倉田 正之 (英語)	鈴木由利子 (英語)
	古橋 和秋 (情報)	井上賢志朗 (情報)

【転出】

校長	高井 俊直	愛知県教育委員会
教諭	中山 史信 (数学)	退職・再任用 (大府東高校)
	森谷 浩一 (地歴)	東海南高等学校
	松田 智行 (国語)	半田高等学校
再任用教諭	古橋 和秋 (数学)	退職
	倉田 正之 (英語)	退職
	齋藤久美子 (英語)	大府高等学校
期限付教諭	近藤 真央 (地歴)	安城高等学校
臨時的教諭	右田 真也 (英語)	衣台高等学校
主査	丹村利英子	刈谷高等学校



- 二年一組 山口莉奈
- 二年一組 河村優佑
- 二年三組 番園遥香
- 二年五組 青木建都
- 二年一組 道脇佑依
- 二年五組 相田 蓮

前期は球技大会や大東祭などの行事があります。それを生徒一人一人が楽しめるように目安箱を設置してたくさん意見を少しでも多く取り入れ、実現できるように、生徒会執行部で力を入れていきたいと思っています。また、新しい活動も始動していき、大府東を今よりもっとよいものにしていきたいと思っています。

平成三十年度 前期生徒会役員紹介

進路実現のための進路行事の運営について

進路指導部

進路指導部では、進路実現のために様々な進路行事を企画運営しております。今回はその内のいくつかを紹介いたします。

先日の五月十八日(金)に「地方国立大学の魅力」をテーマに国公立大学説明会を開催しました。講師として鳥取大学入学センターの准教授・山田貴光様をお迎えし、生徒・保護者向けにお話しいただきました。参加者は、生徒は全学年を対象に二七〇名、保護者は一七〇名

で、総計四四〇名で拝聴しました。PTA総会直後の行事だったにも関わらず、多くの保護者にご参加いただき、感謝しております。内容としては「大学進学で一番大切なのは、自分が納得できる前向きな理由」「金銭面における自宅生と県外下宿生の差額」(地方で暮らす生活費

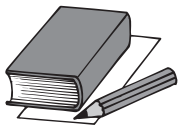
と、地元で払う定期代の差額はほとんど無い)など、具体的な数字を列挙し、熱意をもってお話しされました。特に「教員一人当たりの学生数」の資料では、名古屋大学で九・一六人、愛知教育大学では一七・九一人で国公立大学の全国平均が一〇人程度であるのに対し、愛知淑徳大学が二五・〇五人、中央大学が四一・四三人と、私立大学の平均値は三〇〜五〇名となるのは衝撃的な数字でした。最終的に私立大学へ進学することになるとして

も、例えそれが地方の学校であっても、まず国公立大学を目指す意義は、十二分にあると感じられた時間となりました。

六月六日(水)には一年生向けに学部学科説明会を開催し、実際の大学の先生方をお招きし、「大学ではどんなことが学べるか」をお話しいただき、文理選択の参考になりました。

また、六月二十九日(金)には二年生向けに出前授業を開催し、実際の大学の授業を体験できる時間としました。講師を全国からお呼びし、地元の名古屋大学・愛知教育大学・愛知県立大学・豊橋技術科学大学をはじめとし、山形大学・信州大学・下関市立大学からも来ていただきました。

そして、来たる二月六日(水)には富山大学の船橋伸一教授をお呼びし、進路講演会を開催します。こちらの行事にはまた保護者の方々にご案内をさせていただきますので、ご参加いただければ幸いです。以上のように種々の進路行事を計画する中で、お子様の進路実現をはかって参ります。今後ともよろしくお願ひします。



エルウッドカレッジ短期訪問団を迎えて

本校の姉妹校であるオーストラリアのエルウッドカレッジからの短期訪問団が五月二十四日に来日し、本校生徒のお宅にホームステイをし、大府東高校に通いました。ロンダ・ホルト校長を初めとする三人の先生方と十九名の生徒を迎え、二十五日(金)に歓迎式典を行いました。三年生の有志によるダンス、吹奏楽部の演奏、生徒による司会で、エルウッドの生徒たちにもおもてなしの心が伝わり、大変よかったですと感想を頂きました。また、エルウッドの生徒、シアとメリッサの作成したエルウッド校紹介ビデオも上映し、本校生徒もエルウッド校の様子を知ることができ、楽しい時間を過ごしました。校内では、授業に参加したり、書道体験、茶道体験など、日本の文化に触れ、感動をしていました。大府市長訪問、早川ぶどう園、セレクトナ見学をし、土曜日にはリトルワールド、犬山城にホストの生徒と遠足に行きました。

フェアウェルパーティーには、PTA役員の方々に着せていただいた浴衣で参加

をし、大喜びをしていました。長年の交流を続けて行く中で、交流プログラムに兄弟姉妹で参加している両校の生徒もおり、交流の素晴らしさを実感しました。また、是非日本に来たい、大府東に来たいと言ってくれるエルウッドの生徒の陰には、よくして頂いたホストファミリーのご協力とクラスや部活などで親切に関わってくれた生徒諸君、そしてPTAの協力があってこそ、と改めて感じた今回の受け入れでした。本当にありがとうございました。本校での六日間の後、一行は京都、金沢、広島、東京を観光し、九日に成田より帰国しました。後日、ジョンとアイヴァンから大府東宛に封筒が届き、あけてみると清水寺で買ったお守りがメッセージとともに一人ひとりのホストチューデント宛に入っており、その心遣いに感動しました。心の交流が広がっていくことを実感した今回の受け入れでした。



遠足

仲間の良い姿を見つけて

一年四組 正木 南帆

わたしは今回の遠足を通して、クラスの友達だけでなく、学年全体でも普段の生活では見つけられないたくさんさんの良い所を見ることができました。

一つ目は、遊歩道を散策していたときに、「頑張れ」と声をかけたり、友達の手を取ってあげたりとした姿を見ることができました。自分が辛い時に友達と一緒に乗り越えている、そんな良い所を見つられて良かったです。

二つ目は、カレーライス作りを終えて片付けをしているとき、班の全員でゴミがないか確認したり、使った水場の水滴がなくなるまで拭いたりして、公共の場にふさわしいマナーが守られていたことが良かったと思います。あたり前のことかもしれないけど、それがあたり前にできている姿が印象深かったです。

このたった一日の間でクラス、学年を通じて色々な経験ができたと感じることができました。学年のスローガンである「英姿颯爽」にふさわしい行動をして一



日を過ごせていたと思います。今回の遠足で見つけることができた仲間の良い所が普段の生活で生かされる、そんな集団でいられたらいいと思います。

初めて見たみんなの良いところ

一年五組 濱島 来夢

高校生になって二ヶ月が経ち、学校生活に慣れたぐらいで行った遠足ははくはともいいものになったと思います。

慣れたというものの行事などはなく、周りとのコミュニケーションをとることで少なかったです。今回の遠足は、みんなと協力してカレーを作ったり、それまでの準備や片付け、バスでの会話、コミュニケーションをとる時間が多く、普段あまりしゃべらない子とも話すことができました。小中でカレー作りを体験しましたが、高校生にもなると、料理が上手な子がいたり、火おこしや片付けがうまい人がいたので、今までもよりもスムーズに活動が進んだと思いました。それに、そういう仲間の長所もたくさん見つけることができたと思います。料理が上手な人、片付けが上手な人、バスの中では歌のうまい人。特に歌をみんなの前で

上手に歌っている人を見て、自分人見知りなのでとてもすごいなと思いました。たくさんさんの良いことを見つけて、これからの行事は、それぞれがお互いの良いところを引き出し合って、全員がクラスを引っ張る勢いで楽しいと思えるクラスになればいいと思います。

遠足

三年三組 仲田 佑菜

高校生活最後の遠足は、ナガシマスパーランドにいきました。私たちのグループは、ほとんどの子が乗り物に乗れる子だったので、アトラクションに十個以上乗れました。一番楽しかったのは、スチールドラゴンでした。落ちるまでの時間が長かったのでドキドキしました。乗っている時間が長く、上下するのが多かったのですが、とても楽しかったです。乗り終わったあと、写真を見に行くときみんなの顔がブサイクすぎて、しばらくみんなが笑っていました。嵐にも乗りました。嵐は、回転がすぎて目も回ったし、頭も痛くなりました。嵐に乗っている時のみんなの声が一番大きくて、女子じゃないような声をあげて乗ったのが楽しかったです。全部のアトラクションが、楽しすぎました。水に濡れるジェットコースターに乗れなかったのが残念です。

たくさんさんのアトラクションに乗れたので、すごく楽しかったです。帰りのバスでは、みんなほとんど話さず疲れ切っていて、行きのバスの中とは違いすぎてびっくりしました。でも、それだけ楽しめていたことだと思うので、よかったです。思います。行事になると男女で話すことが増えて、仲良くなっているの、行事では、みんな協力し合って、とても仲の良いクラスで過ごしていきたいです。

最後の遠足

三年四組 河津 優花

高校最後の遠足。私は桑名市が前日に雨予報だと知ってから目的地に着くまで、「最後の遠足は名古屋港かあ。」

と少しも気分が上がりませんでした。しかしバスは長島を下りたので、そのときはびっくりしたのと同時にとてもうれしかったです。

私は高校一年生のとき以来、ナガシマのアトラクションに乗っていなかったのですが、自分がどれくらい乗れるのかがわかりませんでした。私の班はほとんどが絶叫系の乗り物が大丈夫だったので、「最初スチールドラゴンに乗ろう！」とみんなが声を合わせていっていた時、そんな友達をとて恐怖に感じました。結局最初には乗らず、易しい乗り物でだんだんと慣れていく内に、「叫べば何とかなる」が口癖になっていきました。そんな私は気づけばスチールドラゴンの頂上で叫んでいました。心臓が飛び出るくらい怖くて、今でも思い出すだけでゾッとします。しかし、その中でも待ち時間などに友達とたくさん話をさせて笑ったり、時には普段あまり話す機会のない先生方ともお話ししたりと、みんなのことをより一層知ることのできた良い機会になりました。

卒業まで残りわずかですが、大府東でまた一つ思い出が作れたので、良かったです。



修学旅行

中島の思い出

二年一組 美馬菜々穂

みなさんは中島という島を聞いたことはありますか。私は今回の修学旅行で初めて知りました。なので行く前からとても待ち遠しく、二日目がとても楽しみでした。

中島で体験した事は大きく分けて二つあります。一つ目は、海岸を貸し切って行う海釣り体験です。私は釣りの経験がまったく無く釣れるか心配でしたが、島の講師の方がわかりやすく丁寧に教えて下さり、七匹も釣ることができました。

その後ビーチで少し遊び、BBQで自分の釣った魚を食べる事ができ、とても良い思い出になりました。二つ目は、大府東高校特製のみかんジュース、ラベル作り体験です。中島は小さな島ですが、みかんの品種は十五種類以上あり、出荷量日本一を誇っています。そのみかんの中の三種類を色々組み合わせ、特製のジュースを作りました。私たちは温州といよかんのブレンドを作りました。ラベルも自分の好きな絵、文字を書いて世界に一つだけのみかんジュースを作るという貴重な体験をすることができました。

この三日間で深めた友情や体験して得た知識を大切にしていきたいです。



充実した動物との関わり

二年三組 今井 世菜

ずっと楽しみにしていた修学旅行はあっという間に終わってしまっただけで、一生の素敵な思い出となりました。

なかでも二日目の分散でとべに行ったことが印象的です。とべ動物園は名前も聞いたことのなかった初めて訪れる場所でした。ここで私は、舎内に響くうなり声に恐怖を感じながら檻をはさんでメートルの距離で百獣の王ライオンに餌をあげました。他の動物の給餌体験もしましたがライオンは本当に迫力があり緊張感もすごかったです。

そして、今まで見ることにさえいやですごく苦手だったへびにさわることになりました。へびは小さかったけれど、私にとってはたくさんさんの勇気が必要な大きな挑戦でした。意外にもザラついていて想像とは違ったため、嫌な気持ちもなくなへび嫌いを克服することができました。

また、絶滅の危機にさらされている動物について話を聞いたりして、動物園を楽しむだけではなく初めて知ったことやふれあった動物のことを考えたりなどさまざまなことを学んだり体験したことで成長することができたと思実感しています。



被爆者の講話を聴いて

二年六組 瀧本 茉央

私は、被爆者の下畑さんの話を聞きました。今とは違って中学は義務教育ではなく五年間ありました。中学生でも軍隊に入らないといけないなんて、銃の扱いと刺し殺し方と撃ち殺し方を学んでいました。今では考えられないことをしている、もし自分が中学の頃に同じ事を学ばないといけない立場だったら自分の手で人を殺すために学ばないといけないなんて絶対嫌だし、精神的に耐えられなくて死にたくなると思います。自分の好きなことも自由もなく生きるなんて今の私たちからしたら考えられません。

この頃の中学生は銃を製造する工場で働かされていました。人を殺すための物をたった十四才で作るのはどんな気持ちだったんだろうと思いました。

原爆が投下されて目の前で人が死んでいくのを見て下畑さんは何が起こったの



かわからなくて状況を理解するのにだいぶ時間がかかったそうです。現代では考えられない体験を下畑さんはたった十四才で体験しました。

この話を聞いて、改めて戦争の恐ろしさが身に染みました。原爆で大勢の人が亡くなったこと、広島が街が一瞬にして消えた事を次の世代に伝えていくべきだと思いました。

平成30年度 部活動試合結果 (4月 第72回愛知県高校総体知多支部予選~5月)

陸上競技 男子	学校対抗 総合 4位、トラックの部 3位 1位 100m 伊藤、200m 伊藤、400mリレー 中園・高須・富田・伊藤 1600mリレー 伊藤・牧迫・高須・中園 3位 800m 長坂、やり投げ 大庫、ハンマー投げ 大庫 4位 400m 牧迫、走高跳 神園、5000m競歩 長坂 5位 円盤投げ 間山 6位 100m 高須、ハンマー投げ 間山 200m 伊藤 (準決勝進出) やり投げ 大庫 (総合9位) その他の種目は予選敗退	県大会出場 (下線部種目)
女子	学校対抗 総合 7位、トラックの部 4位 1位 100m 西 (大会新)、200m 西 (大会新) 2位 100mH 瀬藤、400mリレー 中原・瀬藤・福地・西 4位 100mH 西 5位 1600mリレー 中原・瀬藤・福地・西 6位 100m 福地 3位 100m 西 (東海大会へ) 7位 200m 西 その他の種目は予選敗退	県大会出場 (下線部種目) 県大会 東海大会出場
弓道 男子	団体 優勝 個人 2位 林、予選通過 安藤、岩瀬 団体 予選 (40射27中)、決勝リーグ ○対岡崎西、●対愛知総合工科、●対豊橋商業 (1勝2敗) 第3位 (東海大会へ) 個人 予選敗退	県大会出場 県大会出場 県大会 東海大会出場 県大会
女子	団体 予選敗退	
柔道 女子	団体 予選リーグ ○2-0 知多翔洋、○2-1 半田 決勝トーナメント ○3-0 半田農、●1-2 半田東 (準優勝) 個人 準優勝 外山、3位 小田 団体 1回戦 ○2-1 碧南、2回戦 ●0-3 名城 個人 外山 (2回戦敗退)、小田、荒尾 (初戦敗退)	県大会出場 県大会出場 県大会 県大会
バスケットボール 男子	1回戦 ○79-56 東海商、2回戦 ●69-103 常滑	
女子	1回戦 ○110-39 知多翔洋、2回戦 ●57-60 大府	
バレーボール 男子	1回戦 ○2-0 常滑、2回戦 ○2-1 東海南 決勝リーグ ○2-0 大府、○2-0 知多翔洋、●0-2 半田 (準優勝)	県大会出場
女子	1回戦 ●0-2 武豊	
ソフトテニス 男子	団体 1回戦 ●1-2 半田商、2回戦 ●0-3 半田 個人 松原・成田組、岡崎・河田組、入佐・杉浦組、加藤・小栗組、石川・安藤組 (ベスト32)	
女子	団体 1回戦 ○3-0 半田、2回戦 ○3-0 東浦、3回戦 ○3-0 半田商 決勝リーグ ○3-0 半田東、●0-3 常滑、○2-1 半田農、●0-3 東海商 (第3位) 個人 鶴田・高石組 (ベスト8) 横山・福田組 (ベスト16)、寺田・石田組、野村・井上組 (ベスト32) 団体 1回戦 ●0-3 星城 個人 1回戦 鶴田・高石組 ●0-4 時習館 <春季知多シングルス大会> 高石 (第3位)、野村 (ベスト8)、鶴田、石田 (3回戦敗退)	県大会出場 県大会出場 県大会 県大会
野球	<第68回愛知県高等学校優勝野球大会 知多地区予選会> 1次リーグ ○6-1 内海、●2-3 日福大附、●1-11 半田工、●0-11 横須賀 <第125回全尾張高等学校野球選手権大会 知多地区予選会> 1回戦 ●0-10 横須賀	
卓球 男子	団体 1回戦 ○3-0 知多翔洋、2回戦 ●0-3 半田 (ベスト8) 個人 ダブルス 鈴木・久永組、吉田・小川組 (3回戦敗退)、岩田・原田組、西口・大武組 (2回戦敗退) シングルス 岩田、鈴木、原田、久永、吉田、大武、小川 (2回戦敗退)	
女子	個人 シングルス 山田 (3回戦敗退)、坂内 (2回戦敗退)	
バドミントン 男子	団体 ●0-3 南山 個人 ダブルス 久保田・磯村 (ベスト32)、浦岡・高須 (ベスト64) シングルス 久保田 (ベスト32)、浦岡 (ベスト64)	
女子	団体 2回戦 ●1-3 名古屋南 個人 ダブルス 仲田・伊藤組 (5回戦敗退 ベスト32)	
ハンドボール 男子	1回戦 ●15-25 半田工	
女子	1回戦 ○48-2 東浦、2回戦 ●15-27 知多翔洋	
サッカー	1回戦 ○2-0 半田、2回戦 ●0-1 常滑 準決勝リーグ ○2-0 半田工、●0-2 知多翔洋	